



この一般質問の映像は  
こちらから

## まち・ひと・しごと創生那須町総合戦略について



高久 一伸

質問

### 新町総合戦略の基本方針は

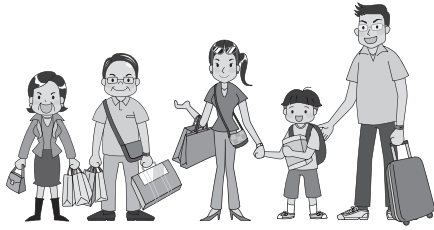
#### 町 人工知能の活用、公民連携の強化を進める

問 「まち・ひと・しごと創生那須町総合戦略」に基づいて策定された、第1期5か年計画（2015～2019年）による、主な取り組みの成果と課題は。

答 成果は各事務事業における数値目標をほぼ達成したこと。課題は観光客入り込み数の確保と新規就農の推進等である。

問 第2期5か年計画（2020～2024年）の基本方針は。

答 国の方針に即し、関係人口の増加、人工知能の活用、民間との連携強化等を基本方針とする。



問 その計画に関する情報を広く共有する方策は。

答 大学や町内各団体の代表による委員会を設置し、それを通して情報の共有化を図る。

問 近隣自治体との連携・調整の見通しは。

答 県北や福島県南の自治体との連携を図りたい。那須塩原市との連携と調整は、特に重要と考える。

## 学校教育環境の整備・充実について

質問

### 読書を促す最も重要な施策は

#### 町 本が身近にある環境づくりを進める

問 アクティブ・ラーニングによる教育の成果は。

答 子ども同士が対話（教え合い）する授業へ変わった。理科の学力は県の最高水準に近い成果を上げている。人前で堂々と自分の考えを述べることもできつつある。

問 新学習指導要領に対応するアクティブ・ラーニングのあり方は。

答 町学力向上推進委員会で策定した学びスタンダードを基に、先生は子どもの学びを軸とする授業の設計に取り組んでいる。

問 読書を促進するための最も重要な施策は。

答 ※1 アクティブ・ラーニング  
学習者である生徒が受動的となつてしまふ授業を行うのではなく、能動的に学ぶことができるような授業を行う学習方法。

問 子どもの読書環境をつくるため、学校図書室支援員の配置、図書ボランティアの育成等を図る。

問 新学習指導要領に対応するプログラミング教育の基本方針は。

答 タブレット端末の導入等、環境の整備も含めてN<sup>※2</sup>・A<sup>※2</sup>・I<sup>※2</sup>・S<sup>※2</sup>・U<sup>※2</sup>タイム（ナイスタイム）を基に義務教育の9年間を通して発達段階に応じた教育を進めたい。

※1 N A I S U タイム  
※2 「人間関係プログラム・防災教育・プログラミング教育」の3つの柱からなる那須町独自の新教科。

